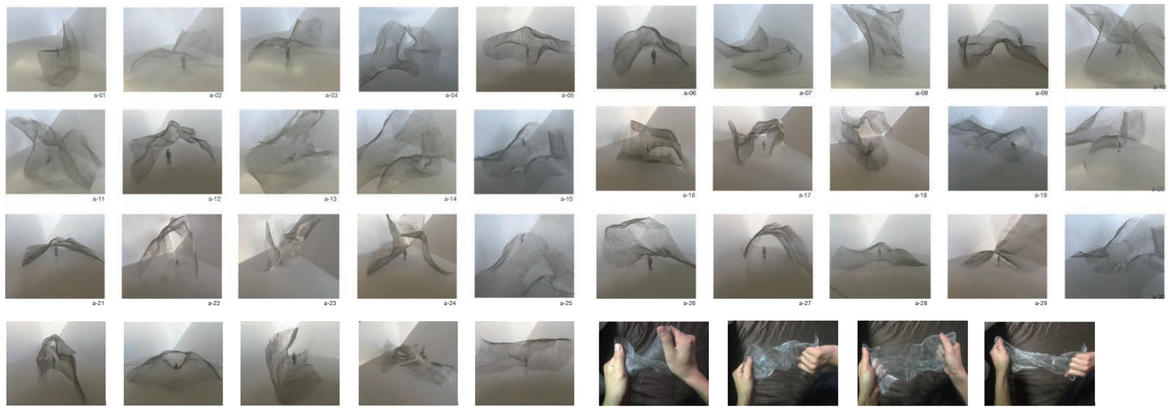
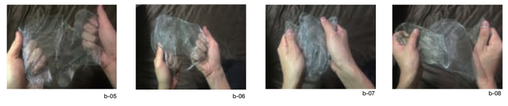
Shake House

Concept

私は洞窟が好きである。洞窟では入り口はあるけれど基本的に内部しかありません。だから、洞窟ではどのように光が入り込んでくるかあるいはどのように光が入り込んでくるか、あるいはどのように風が吹き込んでくるかといった内部性が洞窟の面白さである。壁でありながら壁ではないような仕切りによって「割り切らない空間」が実現されている。そこでは限界のない空間で人は非規則的な動きをすることが出来る。空間としての目的が定められておらず、すべてが自由である。この形態ことが住宅の内と外、家と庭、家と街といった区別が、例えば螺旋状の構造によって家かつ庭、内かつ外、家かつ街へと二重化され建築空間が明確な分節でなくぼんやりとした密度の濃淡が描かれ建築の限界も広がる。

Verification of behavior - ふるまいの検証 -

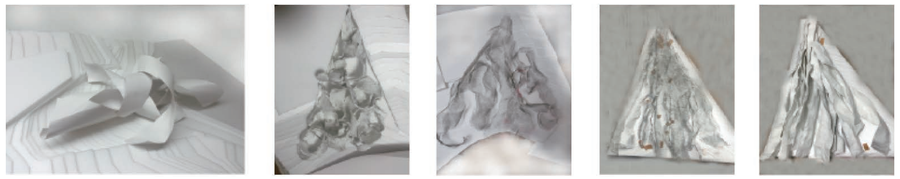




a-01 ― a-10　曲断面における空間
a-11 ― a-16　曲線空間における人の空間認識
a-17 ― a-21　1 つの曲線の作る空間
a-22 ― a-27　2 つの曲線の作る空間
a-28 ― a-31　空間における人のふるまい
a-32 ― a-35　曲線空間での光の動きと空間

b-1 ― b-5　X,Y 方向の力による物体の空間構成と物体構成
b-6 ― b-8　X,Y,Z 方向の力による空間構成と物体構成

Study model



どんな人、その人なりにの用途の壁

どんな人、その人なりにの用途の床

sctionA-B

空間とふるまい